

ここがポイント！建築確認　－現場検査編－

～事例から学ぶ頻出指摘と対応のコツ～

令和8年7月



一般財団法人

宮城県建築住宅センター

はじめに.

令和7年4月の法改正以降、中間・完了検査において散見される指摘事例と、その対応方法についてご説明いたします。
内容は2号建築物（木造一戸建ての住宅）を対象としています。
今後の検査対応の円滑化にお役立ていただければ幸いです。



目次

1. 中東情勢の影響に伴う完了検査の柔軟な運用について
2. 中間検査時の注意点
3. 完了検査時の注意点

目次

1.中東情勢の影響に伴う完了検査の柔軟な運用について

2.中間検査時の注意点

3.完了検査時の注意点

中東情勢悪化にともなう完了検査への影響と対応

中東情勢の悪化に伴い、建築工事におけるシステムキッチン、ユニットバス、便器、ドア等の欠品や納期遅延が発生しております。

宮城県からの「完了検査の柔軟な運用について」の通知を受け、当センターにおきましても、以下の通り完了検査の運用を柔軟に行うことといたしました。

- ・給排水配管工事が完了しており、トイレ等の設置工事が未了の場合
「建築設備等の未設置状態における検査済証の交付に関する申出書」
を完了検査申請書に添えて、**図面**とあわせて提出をお願いいたします。

中東情勢悪化にともなう完了検査への影響と対応

建築設備等の未設置状況における検査済証の交付に関する申出書

様式は、当センターホームページからダウンロードいただけます。
HOME> 各種ダウンロード>
中間、完了検査関係（ダウンロード）

建築設備等の未設置状態における検査済証の交付に関する申出書

一般財団法人 宮城県建築住宅センター 御中

令和 年 月 日

中東情勢の悪化に伴い、建築設備等部品の供給が滞っていることから、現時点においても下記設備等が未設置の状態となっております。

つきましては、下記事項を誓約しますので、下記設備等が未設置の状態です完了検査済証を交付していただきますようお願いいたします。

記

1. 未設置の建築設備等について、納品され次第、速やかに設置します。

1) 建築場所 _____

2) 建築確認番号 _____ 号
建築確認年月日 令和 年 月 日

3) 建築主 住所 _____
氏名 _____

4) 工事施工者 住所 _____
氏名 _____

5) 未設置の設備等 _____
(該当するものに○) _____ ・便器 _____ ・システムキッチン _____ ・ユニットバス _____
_____ ・洗面化粧台 _____ ・その他 (_____)

日付記入

- 1) 建築場所
 - 2) 建築確認番号・日付
 - 3) 建築主
 - 4) 工事施工者
 - 5) 未設置の設備等
- ※該当するものに○をつけてください。

図面：未設置の設備等に「納入され次第速やかに設置する」旨を明示

記載例)



目次

1.中東情勢に起因する設備機器未完了時の
完了検査の取扱いについて

2.中間検査時の注意点

3.完了検査時の注意点

2.中間検査時の注意点 -①

○耐力壁の位置及び仕様の変更

- ・ 確認申請時と現場の相違

○提示書類の不足

- ・ ミルシート
- ・ 生コンの出荷証明書
- ・ コンクリートの強度試験結果
- ・ 木造建築物基礎工事施工結果報告書



指示書をお出しするため合格証の交付が遅延

2.中間検査時の注意点 -②

ミルシートサンプル

INSPECTION CERTIFICATE
検査証明書

機械的性能
・耐力
・引張強さ 等

Customer 顧客名称: _____
号: _____
号: _____
購買番号: _____
製造番号: A0730010
材質: SFVC 2A
品名: 150LB SO-RF
Size 寸法: 10B
Quantity 数量: 5

Certificate No.(証明書番号): A0730010
Date(日付): 2014/09/18

JAPAN FLANGE DIRECT

Specification for Inspection 検査規格: _____
Standard of Raw Material 材料規格: JIS G 3202-1988 SFVC 2A
Raw Material Maker 材料メーカー: _____

Standard 規格	Mechanical Properties(機械的性質)					Chemical Composition(%) 成分									
	Yield Strength 耐力 N/m ²	Tensile Strength 引張強さ N/m ²	Elongation 伸び %	Reduction of Area 絞り %	Hardness 硬さ HB	C	Si	Mn	P	S	Ni	Mo	Cu	V	Co
Min(最小)	245	490	18	33		0.350	0.350	1.100	0.030	0.030					
Heat No.(溶解番号) 14E100525	295	525	30	65	145	0.190	0.28	0.98	0.012	0.001					

Raw material 素材寸法	130*8250	Heat Treatment Number 熱処理番号	2014-8-26-3	Remarks 備考
Visual Inspection 外観検査	GOOD	Liquid Penetrant Examination 浸透探傷試験	-	We hereby certify that the material described herein has been made in accordance with the rules of the contract. 記載のとおり、製品は指定の規格に合格していることを証明します。
Dimension Inspection 寸法検査	GOOD	Ultrasonic Examination 超音波探傷試験	-	
Heat Treatment Condition & Temperature 熱処理温度	NORMALIZING 880°C A.C	Size of Specimen 試験片 形状	JIS Z2241 14A号	

Chief of Inspection Section 品質保証責任者

J I S 規格等の番号

引用元：日本フランジダイレクト株式会社

2.中間検査時の注意点 -③

出荷証明書

出荷証明書

No.20191217001
2019年12月17日

〇〇〇〇株式会社 御中

工事名 : 〇〇〇〇工事
施工業者名 : 株式会社〇〇〇〇
納入業者名 : 株式会社××××
出荷日 : 〇年〇月〇日出荷

・工事名称等
・施工・納入業者名
・出荷日

下記のとおり出荷したことを証明いたします。

品番	品名	数量

・品番、品名、数量
等の記載があるもの

強度試験成績表

試験速報
コンクリート圧縮強度試験成績書
要項第6条第2項関係様式

依頼者: _____
発行日: _____年 ____月 ____日

試験機関名 有限会社 京浜材料試験
〒210-0854 川崎市川崎区浅野町6-16
TEL 044-366-5652
FAX 044-322-2611

殿

工事現場	工事名称	
建築工事施工計画 報告書番号		
建築確認 年月日 番号	☐ 建築確認 ☐ 計画通知	年 月 日 第 ____ 号
打込箇所		

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー	粗骨材の最大寸法	セメントの種類による記号
試験の目的		設計基準強度	$F_c =$		
供試体採取年月日	年 月 日	品質基準強度	$F_q =$		
強度管理方法		構造体強度補正値	$S =$		
採取方法		調査管理強度	$I =$		
採取地点					
採取責任者					
検査印	有				
生コン工場					
セメント会社					

試験年月日	年 ____ 月 ____ 日	試験材節	日
養生方法		管理材節	日

供試体 符号	コンクリート スランプフロー mm	空気量 %	コンクリート 温度 ℃	直径 mm	最大荷重 KN	圧縮強度 N/mm ²	試験結果の判定
1							合・否
2							
3							
圧縮強度平均値							
試験機番号						(F)	
試験番号						試験者名	
立会者							
備考							

・スランプ値
・圧縮強度等

試験方法はJIS1108による。
*試験年月日、番号、圧縮強度の数値及び試験結果の判定以外の記載は、依頼者の申告による。
*試験結果の判定は、建築基準法施行令第74条、同条に基づく建設省告示1102号及び、JASSST-603による。

FAX : _____

引用元：有限会社京浜材料試験



一般財団法人
宮城県建築住宅センター

9

2.中間検査時の注意点 -④

【 木造用 】

木造建築物基礎工事施工結果報告書

【中間検査申込書記載欄】

（指定確認検査機関）

一般財団法人 宮城県建築住宅センター 様

令和 年 月 日

下記のとおり、木造建築物基礎工事の施工結果報告書を提出します。

確認済証番号	年 月 日 / 第 号
建築主氏名	
建築場所	
報告者 工事監理者	() 級建築士 第 号 () 級建築士事務所 第 号

建築確認後の構造関係の変更事項

変更	変更内容（有りの欄に記載のこと） /
有り ・ 無し	

項目	確認事項	法令根拠	写真添付確認
地盤工事	地盤改良工事	令第38条	有り ・ 無し
	杭打工事	令第38条	有り ・ 無し
基礎（共通）	概切り状況		有り ・ 無し
	基礎底鉄筋の寸法	H12告示 1347	有り ・ 無し
	基礎底鉄筋の厚さ	H12告示 1347	有り ・ 無し
	基礎底鉄筋の鉄筋のかぶり厚さ	令第79条	有り ・ 無し
	基礎立ち上がり高さ	H12告示 1347	有り ・ 無し
	基礎立ち上りの厚さ	H12告示 1347	有り ・ 無し
	基礎立ち上りの鉄筋のかぶり厚さ	令第79条	有り ・ 無し
	基礎の全体形状	令第38条	有り ・ 無し
	フック・Jの定着長さ		有り ・ 無し
	布基礎	主筋、あばら筋の径	H12告示 1347
べた基礎	主筋、あばら筋の間隔	H12告示 1347	有り ・ 無し
	前後方向の配筋	H12告示 1347	有り ・ 無し
	前後方向の配筋	H12告示 1347	有り ・ 無し

※ 写真添付確認欄の「無し」の場合の対応について記載のこと。

記載欄

※ 写真撮影について

→ 写真は、小断面などに、工事名、使用材料、直量を記入し撮影する。また、各工における必要な寸法が読み取れる目盛り（巻尺・目・ヤシ等）を入れて撮影するものとする。

→ 1工程につき、複数の写真で報告して下さい。

一般財団法人 宮城県建築住宅センター 事業管理課

「木造建築物基礎工事施工結果報告書」

- 中間検査申請時に添付してください
- 当センターHPよりダウンロードしてご利用ください

施工写真の有無をチェックください

※該当がない項目は場合は斜線を引いてください

施工写真がない部分については対応を記載してください

一般財団法人
宮城県建築住宅センター

10

目次

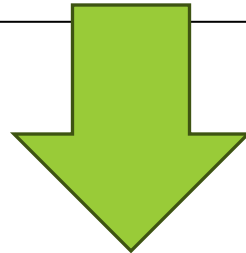
1.中東情勢に起因する設備機器未完了時の
完了検査の取扱いについて

2.中間検査時の注意点

3.完了検査時の注意点

3.完了検査時の注意点 -①

- 省エネ基準工事監理報告書の未添付
- 給湯器の規格・型式の変更
- 給湯器の容量・消費効率の変更
- エアコン消費者設置→現場設置済み
- 断熱材の仕様、規格、厚み及び施工状況がわかる写真



指示書をお出しするため検査済証の交付が遅延

3.完了検査時の注意点 -②

省エネ基準工事監理報告書

住宅

令和 年 月 日

一般財団法人宮城県建築住宅センター
理事長 様

工事の監理状況を報告いたします。
この監理報告書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者名

物件概要

建築主	
工事名称	
敷地の地名地番	

報告内容（以下の項目について申請図書の通り施工されたことを報告します。）

項目	報告事項	照合を行った 設計図書等	確認方法	確認結果
1. 基本情報	① 断熱材の仕様、設置状況		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	② 構造等補強の要否確認の仕様、範囲 （鉄筋コンクリート造の場合）		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	③ 窓の仕様、設置状況（付属部材や仕様の設置状況をきむ）		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
2. 暖房設備	① 暖房方式		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	② 暖房設備の仕様、設置状況		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
3. 冷暖設備	① 冷暖方式		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	② 冷暖設備の仕様、設置状況		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
4. 換気設備	① 換気設備の仕様、設置状況		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
5. 照明設備	① 照明設備の仕様、設置状況		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
6. 給排水設備	① 給排水設備の仕様、設置状況		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不

【注意】

1. 本様式は、「住宅仕様基準」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確認した住宅に係る工事監理を対象としています。
2. 計算対象となる設備等がない場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。
3. 「照合を行った設計図書」の欄は、建築物エネルギー消費性能基準第1章第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照合を行った図書を記載してください。
4. 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを複数選択してください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な確認方法を記載してください。

省エネ基準工事監理報告書

住宅

令和 年 月 日

一般財団法人宮城県建築住宅センター
理事長 様

工事の監理状況を報告いたします。
この監理報告書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

工事監理者名

物件概要

建築主	
工事名称	
敷地の地名地番	

報告内容（以下の項目について申請図書の通り施工されたことを報告します。）

項目	報告事項	照合を行った 設計図書等	確認方法	確認結果
1. 基本情報	① 建て方、断熱材の仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	② 床間等（主たる居室、その他の居室、浴室、トイレ、玄関等）		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
2. 床間	① 断熱材と断熱材の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	② 断熱材と断熱材、浴室等の断熱材の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	③ 窓の仕様、設置状況（付属部材や仕様の設置状況をきむ）		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	④ 構造等補強の要否確認の仕様、範囲（鉄筋コンクリート造の場合）		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
3. 暖房設備	① 暖房方式、暖房設備の仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	② 暖房設備の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
4. 冷暖設備	① 冷暖方式、冷暖設備の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	② 冷暖設備の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
5. 換気設備	① 換気設備の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	② 換気設備の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
6. 給排水設備	① 給排水設備の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	② 給排水設備の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
7. 照明設備	① 照明設備の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不
	② 照明設備の仕様、仕様		☐ × ☐ ○ ☐ △ ☐ ◯	☐ 未 ☐ 不

【注意】

1. 本様式は、「住宅仕様基準」により建築物エネルギー消費性能基準への適合性を確認した住宅に係る工事監理を対象としています。
2. 計算対象となる設備等がない場合は、当該設備等に係る項目の記載は不要です。
3. 「照合を行った設計図書」の欄は、建築物エネルギー消費性能基準第1章第1項に規定する図書等のうち、工事監理で照合を行った図書を記載してください。
4. 「確認方法」の欄は、A・B・Cのうち、該当するものを複数選択してください。Cに該当する場合は、確認に用いた具体的な確認方法を記載してください。

「省エネ基準管理報告書」

○完了検査申請時に添付ください
○当センターHPよりダウンロードしてご利用ください

「住宅用」「非住宅用」のもので様式が異なりますのでご注意ください。また「仕様基準」、「標準計算」、「モデル建物法」等でも様式が異なります。

3.完了検査時の注意点 -③

給湯器の変更について

エコキュート

エコジョーズ

エコフィール

エコワン

電気
ヒートポンプ



ガス給湯器



石油給湯器



ガス
+
電気ヒートポンプ



システム 品番 セット 希望小売価格	タンク容量 460L (4~7人)	屋外 設置用	HE-JPU46LQS 1,293,600円 (税別1,176,000円)	HE-JU46LQS 1,167,100円 (税別1,049,000円)	HE-J46LQS 1,048,300円 (税別933,000円)	HE-J46LSS 1,024,100円 (税別909,000円)	HE-J46LZS 1,039,500円 (税別924,000円)	※HE-J46LQES 1,101,100円 (税別986,000円)	※HE-J46LQFS 1,092,300円 (税別977,000円)
		屋内※ 設置用	—	—	—	※HE-J46LSMS 1,075,800円 (税別958,000円)	※HE-J46LZMS 1,091,200円 (税別982,000円)	—	—
		屋外 設置用	HE-JPU37LQS 1,189,100円 (税別1,071,000円)	HE-JU37LQS 1,069,200円 (税別954,000円)	HE-J37LQS 950,400円 (税別835,000円)	HE-J37LSS 911,900円 (税別806,000円)	HE-J37LZS 927,300円 (税別812,000円)	※HE-J37LQES 1,003,200円 (税別888,000円)	※HE-J37LQFS 980,100円 (税別865,000円)
	タンク容量 370L (3~5人)	屋内※ 設置用	—	—	—	※HE-J37LSMS 963,600円 (税別846,000円)	※HE-J37LZMS 979,000円 (税別860,000円)	—	—
							※HE-N37LQMS 1,086,800円 (税別968,000円)	※HE-N37LQFS 1,113,200円 (税別995,000円)	—

仕様基準の適用不可
↓
省エネ適判取得が必要

3.完了検査時の注意点 -④

エアコン消費者設置→現場設置済み

表 定格冷房エネルギー消費効率の区分(い)(ろ)(は)の条件

定格冷房能力の区分	定格冷房エネルギー消費効率の区分を満たす条件		
	区分 (い)	区分 (ろ)	区分 (は)
2.2kW 以下	5.13 以上	4.78 以上 ((い) 未満)	4.78 未満
2.2kW を超え 2.5kW 以下	4.96 以上	4.62 以上 (同上)	4.62 未満
2.5kW を超え 2.8kW 以下	4.80 以上	4.47 以上 (同上)	4.47 未満
2.8kW を超え 3.2kW 以下	4.58 以上	4.27 以上 (同上)	4.27 未満
3.2kW を超え 3.6kW 以下	4.35 以上	4.07 以上 (同上)	4.07 未満
3.6kW を超え 4.0kW 以下	4.13 以上	3.87 以上 (同上)	3.87 未満
4.0kW を超え 4.5kW 以下	3.86 以上	3.62 以上 (同上)	3.62 未満
4.5kW を超え 5.0kW 以下	3.58 以上	3.36 以上 (同上)	3.36 未満
5.0kW を超え 5.6kW 以下	3.25 以上	3.06 以上 (同上)	3.06 未満
5.6kW を超え 6.3kW 以下	2.86 以上	2.71 以上 (同上)	2.71 未満
6.3kW を超え 7.1kW 以下	2.42 以上	2.31 以上 (同上)	2.31 未満

区分(は)のもの



仕様基準適合不可



省エネ適判取得

3.完了検査時の注意点 -⑤

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書の添付について

住宅

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書（住宅・仕様基準）

（第一面）

令和 年 月 日

一般財団法人 宮城県建築住宅センター
理事長 様

申請者氏名
又は
建築主氏名

申請に係る住宅の建築物エネルギー消費性能基準への適合について、建築基準法施行規則第3条の2に該当する軽微な変更がありましたので、変更の内容を報告します。

(1) 建築物等の名称	
(2) 建築物等の所在地	宮城県
(3) 建築確認交付年月日・番号	年 月 日 第 建築宮城建住 号
(4) 変更の内容	☐ 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準に係る変更 ☐ 一次エネルギー消費量に関する基準に係る変更
(5) 備考	
(注意) 1. この説明書は、「住宅部分の外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準及び一次エネルギー消費量に関する基準（以下「仕様基準」という。）」を用いた住宅の完了検査申請の際に、申請に係る住宅に軽微な変更があった場合に、完了検査申請書の第三面の別紙として添付してください。 2. (4) 変更の内容において、「外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準に係る変更」にチェックした場合には第二面に、「一次エネルギー消費量に関する基準に係る変更」にチェックした場合は第三面に必要事項を記入した上で、変更内容を説明するための図書を添付してください。 3. 仕様基準に定める仕様に該当しない変更を行う場合、別途所管行政あるいは登録省エネ適合性判定機関による省エネ適合性判定が必要となりますのでご注意ください。	受付欄

(第二面)

【外壁、窓等を通しての熱の損失の防止に関する基準に係る変更】

・変更内容は、☐チェックに該当する事項となる

☐ 断熱構造とする部分の変更
☐ 外皮の断熱性能等の変更
☐ 開口部の断熱性能等の変更
☐ その他（ ）

・上記☐チェックについて具体的な変更の記載欄

・添付図書等

(注意) 変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。

(第三面)

【一次エネルギー消費量に関する基準に係る変更】

・変更内容は、☐チェックに該当する事項となる

☐ 暖房設備

変更内容記入欄

☐ 冷房設備

変更内容記入欄

☐ 全館換気設備

変更内容記入欄

☐ 照明設備

変更内容記入欄

☐ 給湯設備

変更内容記入欄

・添付図書等

(注意) 変更となる設備は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした設備については、変更内容記入欄に概要を、第三面別紙に必要事項を記入した上で、変更内容を示す図書を添付してください。

完了検査申請時に軽微な変更の内容を記載の上添付ください

3.完了検査時の注意点 -⑥

断熱材の仕様・規格・厚み及び施工状況がわかる写真の提示

外壁



天井



床



建材トップランナー制度対象製品 2022年度目標値 0.03232W/(m・K)
押出法ポリスチレンフォーム断熱材 熱伝導率 0.024W/(m・K)
JIS A 9521 XPS30G F☆☆☆☆

↓

断熱材の仕様・規格

デュポン・スタイロ株式会社

写真の撮影に関するお願い

- ・写真は明瞭なものとする。
- ・各部位の断熱材の仕様・厚さが分かるように撮影する。
- ・断熱材の施工状況が分かるよう広範囲で撮影する。

引続きセミナーをご覧ください。



一般財団法人

宮城県建築住宅センター